

2021年12月24日

※ 本リリースは、2021年12月16日午前9時（米国東部時間）に発表されました。

Vicor、2021 World Electronics Achievement Awardを受賞

AIプロセッサ向けのLPDソリューションが「プロダクト・オブ・ザ・イヤー」を受賞

中国・上海 - Vicor Corporation（本社：米国マサチューセッツ州、CEO: Patrizio Vinciarelli、NASDAQ 上場：VICR、以下：Vicor）は、FPA™（Factorized Power Architecture）技術による、LPD方式（水平方向から給電する方法）を用いた大電流 AI プロセッサ向けソリューションが、2021年 World Electronics Achievement Award（WEAA）の電源管理/電圧コンバータ部門で、「イノベーション・プロダクト・オブ・ザ・イヤー」を受賞したことを発表しました。Vicor 社のほかにこの部門にノミネートされたのは、アナログデバイス社、Power Integrations 社、Mornsun 社、SG Micro 社、ABLIC Corporation 社の6社でした。



代表して表彰を受ける Vicor 中国リージョン リーダー Kevin Ni。1200A の LPD(水平方向からの給電)ソリューションで電源管理/電圧コンバータ部門の「イノベーション・プロダクト・オブ・ザ・イヤー」を受賞。

受賞にあたり、Vicor の高性能コンピューティング事業部のグローバルバイスプレジデント Ajith Jain は次のように述べています。「このような賞をいただき、イノベーションにより、コモディティ化した電源業界を戦略的な強みへと変革できること、今回は AI プロセッサのパフォーマンスにおいてそれが認められたということで、Aspencore のアナリストチームに感謝申し上げます。

World Electronics Achievement Awards (WEAA)は、世界のエレクトロニクス業界のイノベーション推進に顕著な貢献をした会社やリーダーを選出し、表彰しています。受賞者の選出は、Aspencore のグローバルシニアインダストリーアナリストと米国、アジア、欧州のオンラインユーザーコミュニティからなる委員会により共同で行われます。

48V を直接負荷へ配電する、低ノイズで電力密度が高いソリューションによって、AI プロセッサの性能を最大限に引き出し、プリント基板の電力損失を減らすことができます。Vicor の、1 つの MCM ドライバ「MCD4609」と 2 つのカレントマル

チプライヤ「MCM4609」で構成されたソリューションにより、最先端のAIプロセッサが必要とする、1V以下で、最大電流650A（連続）／1200A（ピーク）の電源供給が可能です。

[大電流 AI プロセッサ向けソリューションについて詳しく見る](#)
[\(Vicor ウェブサイト\)](#)



Vicor の 1200A の LPD (水平方向からの給電)ソリューション。1つの MCM ドライバ「MCD4609」と2つのカレントマルチプライヤ「MCM4609」で構成

Vicor Corporation について

Vicor は、高性能モジュール型電源コンポーネントの設計、製造、販売を行う米国（本社：マサチューセッツ州アンドーバー）の電源専門メーカーです。HPC（ハイパフォーマンスコンピューティング）、オートモーティブ、通信ネットワーク、産業機器、ロボティクス、鉄道、航空防衛アプリケーションなどへ向けて、広く事業を展開しています。

日本法人の Vicor 株式会社（Vicor KK）は 2017 年に設立され、電源コンポーネントの販売・技術サポートを行っています。詳しくは、www.vicorpower.com/ja-jp をご参照ください。

Vicor は、Vicor Corporation の登録商標です。

FPA™、MCD™、MCM™は、Vicor Corporation の商標です。

Vicor KK ソーシャルメディア :

Twitter: [@VicorKK](https://twitter.com/VicorKK)